

『 肝炎ウイルスワクチン』

～～肝炎にもワクチンがあるんですよ～～

肝臓川柳

『ワクチンの 予防接種で わーらくちん』



(わーい楽ちん…わー楽ちん…わーくちん…ワクチン…orz)

新型インフルエンザが爆発的に流行しており、ワクチンが話題となっていますが、肝炎ウイルスにもワクチンがあります。A型肝炎、B型肝炎に対しては、御存じの様に3回ワクチンを打つ事により、効率的に中和抗体（ウイルスが入っても中和してくれる）が作成され、感染が予防できます。

【接種スケジュール：成人の場合】

1回目接種→〈約1ヵ月後〉→2回目接種→〈5,6ヶ月後〉→3回目接種

有効期間：A型…約5年 B型…約5～10年

▼C型肝炎用ワクチン▼

C型肝炎に対するワクチンは今はまだありません。

ワクチンと言うと、一般的に2度なし免疫(中和抗体作成)のイメージですが、C型肝炎の場合は異なっており、感染してしまっている後の治療となります。C型肝炎ウイルス自体が、人間の細胞免疫力を弱めて、肝臓の中に自分が住みやすいようにしていますが、ワクチンを打ち細胞免疫力を高めて、人間が肝臓内のC型肝炎ウイルスを排除出来るようにする事を目的としています。

★がんワクチン!!★

実は『がんワクチン』という物も開発中であり癌もウイルスや細菌と同じように、

人間ががんを異物と認識して、排除しようとする免疫を持っているのですが、その免疫力を高めて、がんを根絶してしまおうという治療法です。ワクチン開発は今盛んに行われている分野の一部です。



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

A、B型肝炎予防にはワクチンがあります。

医療従事者はB型肝炎に関するワクチンは接種しておく方が良いでしょう。

C型肝炎用のワクチンに関しては他とは意味合いが違っており、

治療を目的として現在盛んに研究がされております。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)